



3 人

1 あっ晴れ岡山人

[歴史上の人物]

- ・宮本 ^{みやもと} 武蔵 ^{むさし}
美作市出身とされる、江戸時代初期の兵法家。二刀流を使い、水墨画にも優れていました。美作市には、「生家跡」「武蔵資料館」などがあります。
- ・山田 ^{やまだ} 方谷 ^{ほうこく}
高梁市出身。備中松山藩士。陽明学者・財政家。藩政改革を断行し、8年間で10万両の負債を返済しさらに10万両の蓄財をしました。「山田方谷記念館」(新見市)、墓所がある「方谷園」(高梁市)などがあります。
- ・雪 ^{せつ} 舟 ^{しゅう}
総社市出身。室町時代の代表的画僧。修行時代に寺の柱に縛られた際、涙でネズミを描いたと伝えられている「井山宝福寺」(総社市)があります。

[芸術文化分野]

- ・竹久 ^{たけひさ} 夢二 ^{ゆめじ}
瀬戸内市出身。大正時代を代表する画家。詩人、デザイナーとしても活躍。甘美でロマンチックな女性描写「夢二式美人」が有名です。作品は、岡山後楽園近くにある「夢二郷土美術館」で堪能できます。
- ・大山 ^{おおやま} 康晴 ^{やすはる}
倉敷市出身。棋士。第15世永世名人。A級在位連続44期、タイトル獲得80期などの功績を称え、女流棋士による「大山名人杯倉敷藤花戦」が行われています。倉敷市に「大山名人記念館」があります。

[スポーツ分野]

- ・人見 ^{ひとみ} 絹枝 ^{きぬえ}
岡山市出身。アムステルダム五輪の女子800mで銀メダル。世界新記録を3つ、日本新記録を8つマークし、1928年に出した走り幅跳びの世界記録(5m98cm)は10年間破られませんでした。

[政治分野]

- ・犬養 ^{いぬかい} 毅 ^{つよし}
岡山市出身。号は木堂。明治・大正・昭和期の政党政治家。1931年第29代内閣総理大臣となるが、5.15事件が起き銃弾に倒れました。「話せば分かる」という名言は有名です。岡山市内に生家と「犬養木堂記念館」があります。

2 もっといる！あっ晴れ岡山人

[名誉県民（県外出身者も含む）]

- ・高畑浅次郎（元県教育長。私学振興、明るい県民運動などに貢献）
- ・藤原 啓（備前焼作家・人間国宝）
- ・土光 敏夫（元経団連会長。経済運営、国政における行政改革推進などに優れた功績）
- ・岡崎嘉平太（民間航空輸送発展に貢献。日中友好関係の基礎を築く）
- ・川崎 祐宣（総合病院、医療大学の設立など、本県の医療の充実、医・医療従事者の養成に貢献）
- ・谷口 澄夫（岡山大学など数々の大学長を歴任し、有為な人材を多数育成。本県の教育・文化の振興に優れた功績）
- ・江草 安彦（川崎医療福祉大学初代学長。本県の保健福祉人材の育成や国際交流で優れた功績）

[県民栄誉賞]

- ・高橋 大輔（フィギュアスケート、バンクーバーオリンピックの銅メダリスト（日本人男子初））
- ・新田 佳浩（スキー、バンクーバーパラリンピックの2種目の金メダリスト（日本人男子初））
- ・福元 美穂（サッカー、FIFA 女子ワールドカップで優勝、ロンドンオリンピックの銀メダリスト）の銀メダリスト）
- ・宮間 あや（サッカー、FIFA 女子ワールドカップで優勝、ロンドンオリンピックの銀メダリスト）
- ・山口 舞（バレーボール、ロンドンオリンピックの銅メダリスト）
- ・荒木絵里香（バレーボール、ロンドンオリンピックの銅メダリスト）
- ・清水 聡（ボクシング（バンタム級）、ロンドンオリンピックの銅メダリスト）
- ・佐藤 友祈（車いす陸上、リオデジャネイロパラリンピックの2種目の銀メダリスト）

[人間国宝]

- ・伊勢崎 淳 (備前焼作家)
- ・金重 陶陽 (備前焼作家)
- ・藤原 啓 (備前焼作家)
- ・藤原 雄 (備前焼作家)
- ・山本 陶秀 (備前焼作家)
- ・大野昭和齋 (木工芸作家)